



■ひらかたパークの 取り組み

ひらかたパークは、「花と緑と水そして光」をコンセプトとする1995年からの大規模なリニューアル工事の実施により、「ひらパー」の愛称で親しまれる新しい遊園地に生まれ変わりました。そして、2000年9月には、日本の遊園地で初めてISO 14001の認証を受けました。今後も引き続き、スタッフ一丸となって地球にやさしい遊園地をめざします。



チケットのリサイクル

お客さまから回収するチケットは膨大な量になりますが、これを一般廃棄物と分別し、業者を介してリサイクルし、トイレトペーパーとして再生・利用しています。

ゴミの分別・圧縮

園内に「もえるゴミ」「ペットボトル」「あきかん」の3種類のごみ箱を設置し、お客さまにご協力をお願いしています。また、回収後、ペットボトルはフタと本体とに、空き缶はアルミ缶とスチール缶とに手作業で分別のうえ、それぞれを圧縮して廃棄業者やリサイクル業者に引き渡しています。



環境教育の実施

アルバイトや委託業者のみならず、一時的に出入りして電気・ガス・水道ほかの工事に従事される方々に対しても同園の環境活動を理解していただき、騒音の低減や廃棄物の削減など、環境に配慮した作業の実施をお願いしています。

騒音対策

近隣にお住まいの方々にご迷惑をお掛けしないよう、園内放送やイベントでの音響効果などに対し、自主基準を設けて騒音の低減に努めています。

その他

遊園地という施設の性格上、電気や水の使用量が入園者数や天候(特に気温)に左右されやすく、しかも事前に予想が立てにくいのが実情です。そこで、少しでも目標数値に近づけられるよう、事務所内のクーラーに節電ステッカーを、園内のトイレへ節水ステッカーをそれぞれ貼付しているほか、閑散時における遊戯機の運転台数削減・消灯を実施するなど、折に触れてスタッフの省エネルギー・省資源に対する意識の向上を図っています。



▲「ジャイアントドロップメテオ」
お客さまのご利用状況に合わせて稼働台数(全3台)を調節しています。
(写真では、お客さまが利用しておられる左側のみが稼働しています。)